

図11

各種HIV検査の受検者数(%)

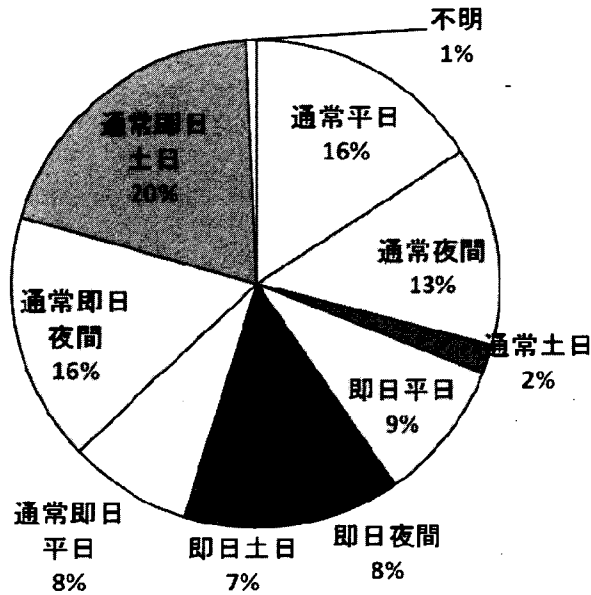


図12

年間検査件数別の保健所数

(566件中)

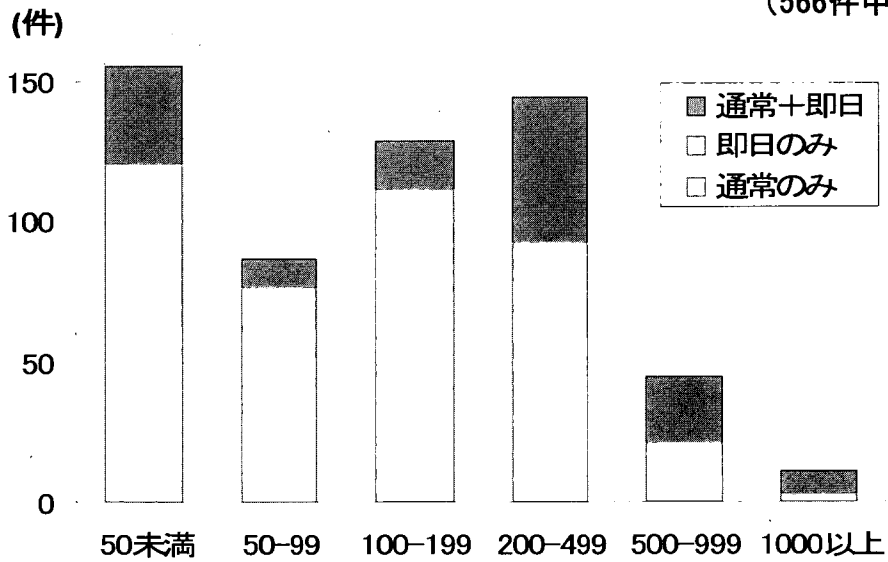


図13

年間検査件数別の 保健所数と検査数の割合

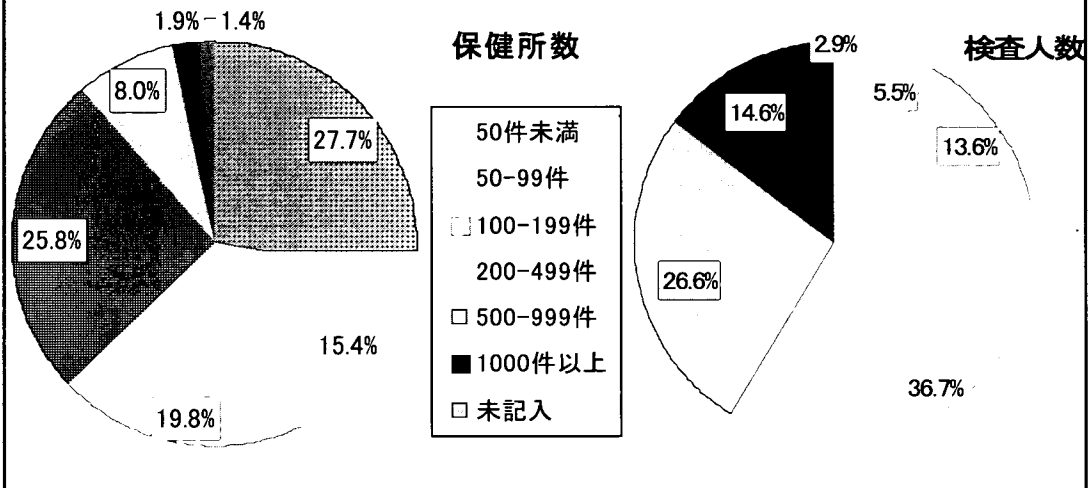


図14

年間検査件数別の陽性率

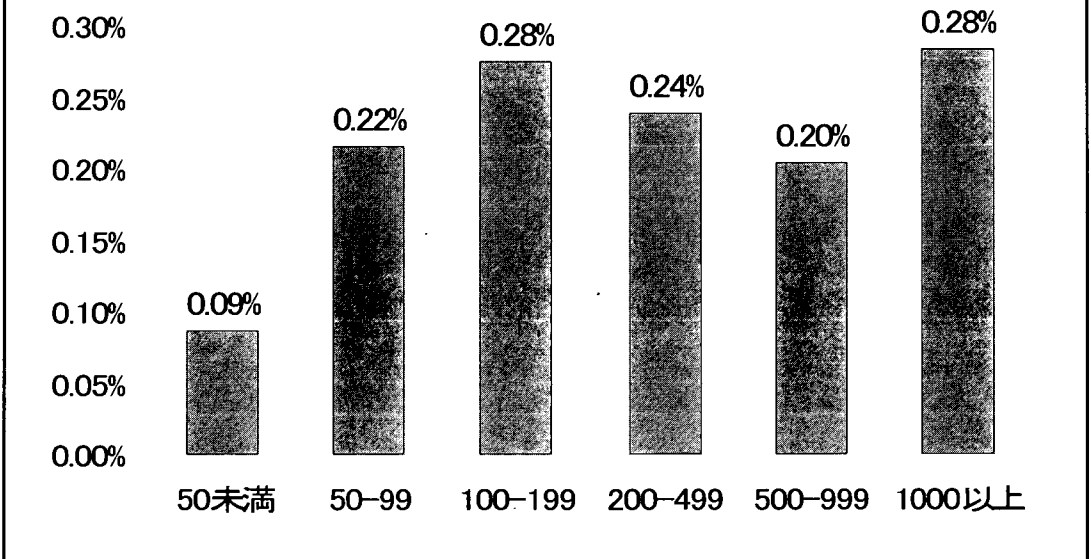
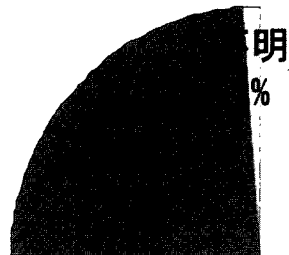


図15

HIV以外の性感染症検査を行っているか



行って
いる
75%

図16

HIV以外の性感染症検査を行っているか

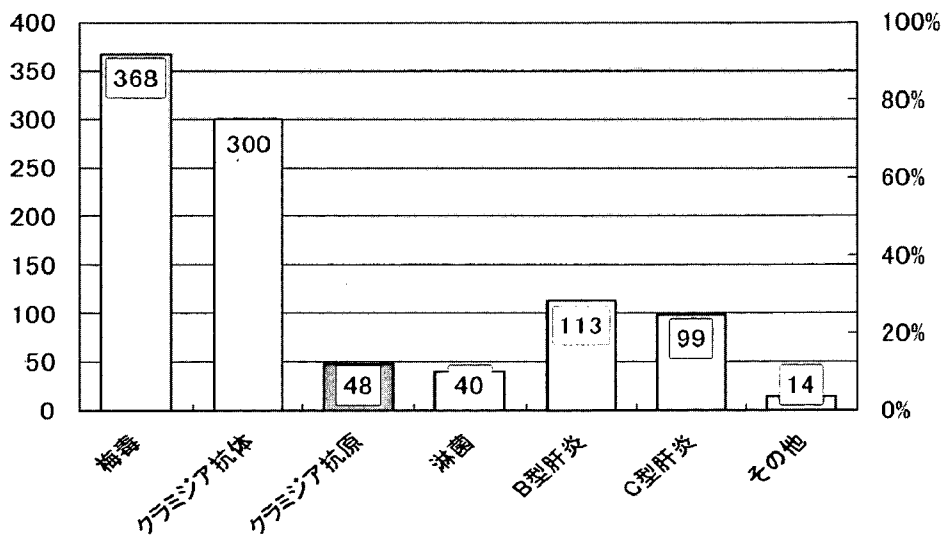


図17 感染者・患者報告数と検査陽性数・検査数(2007)

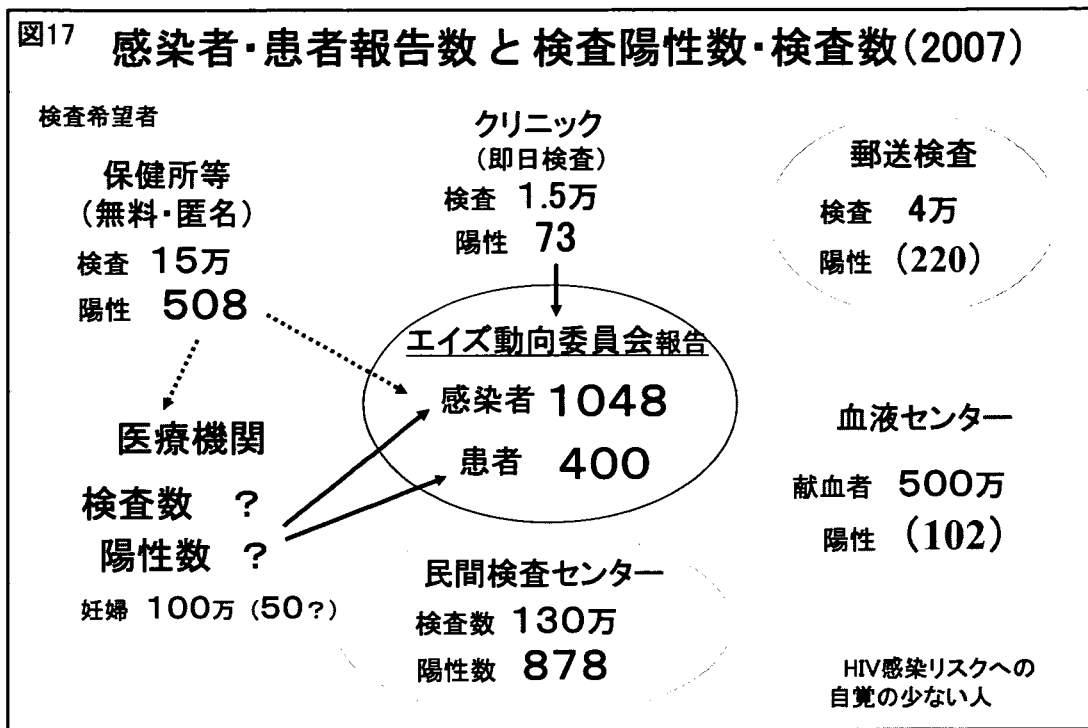


図18 HIV即日検査の導入

—民間クリニックとの連携—
〈2007年12月現在 25ヶ所〉

2001年5月から
導入開始

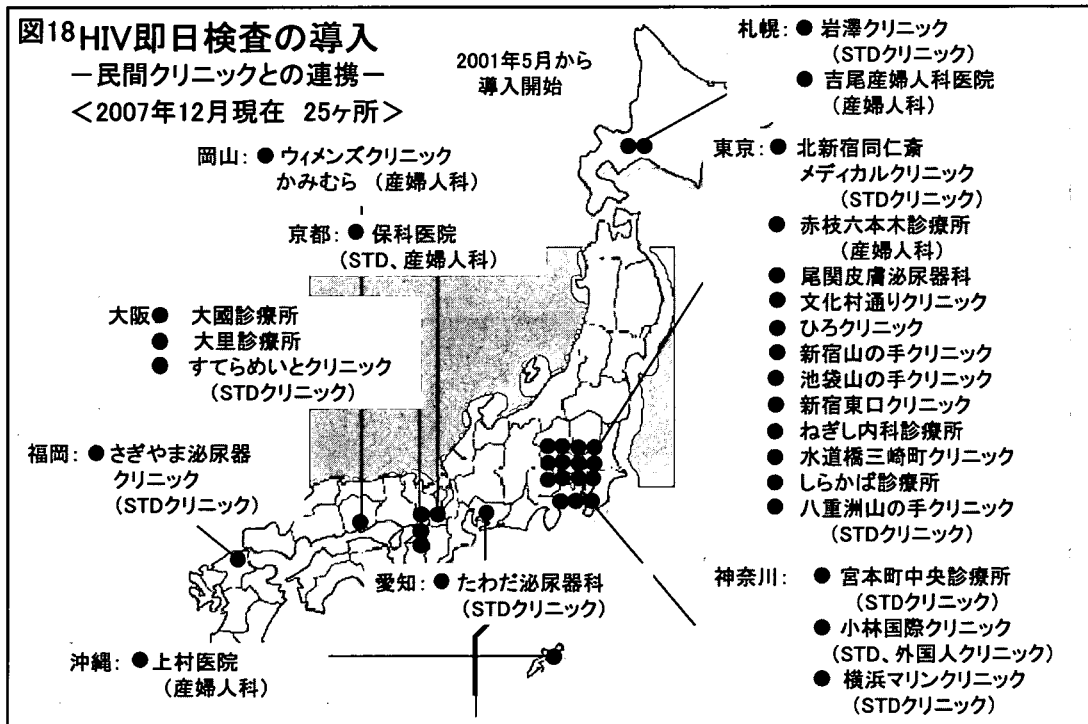


図19

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況 即日検査数と確認検査陽性数の推移（2001～2007年）

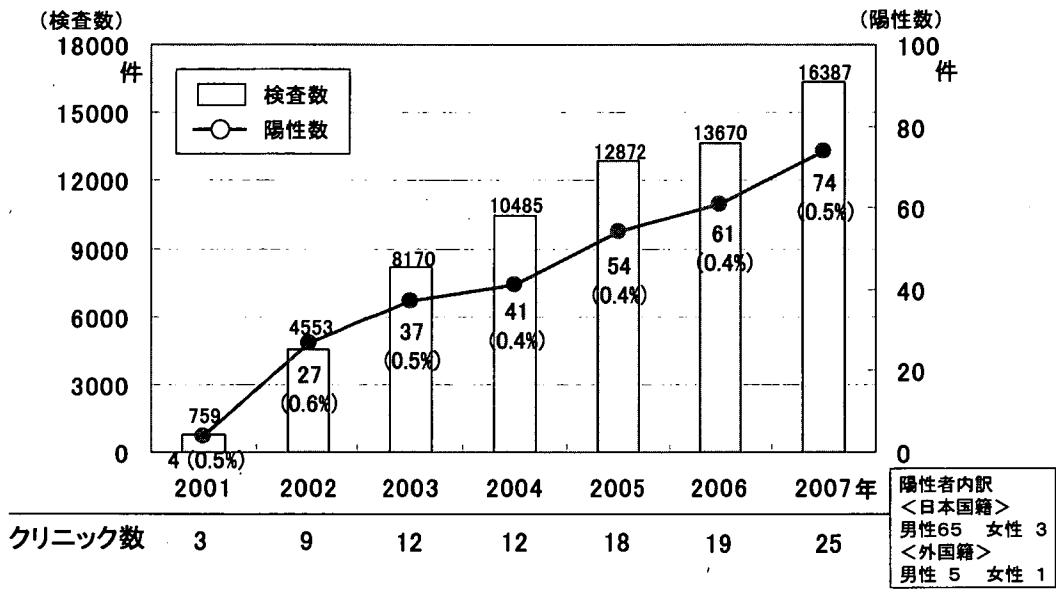


図20

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況

2007年 25カ所のクリニックで実施

<2007年>

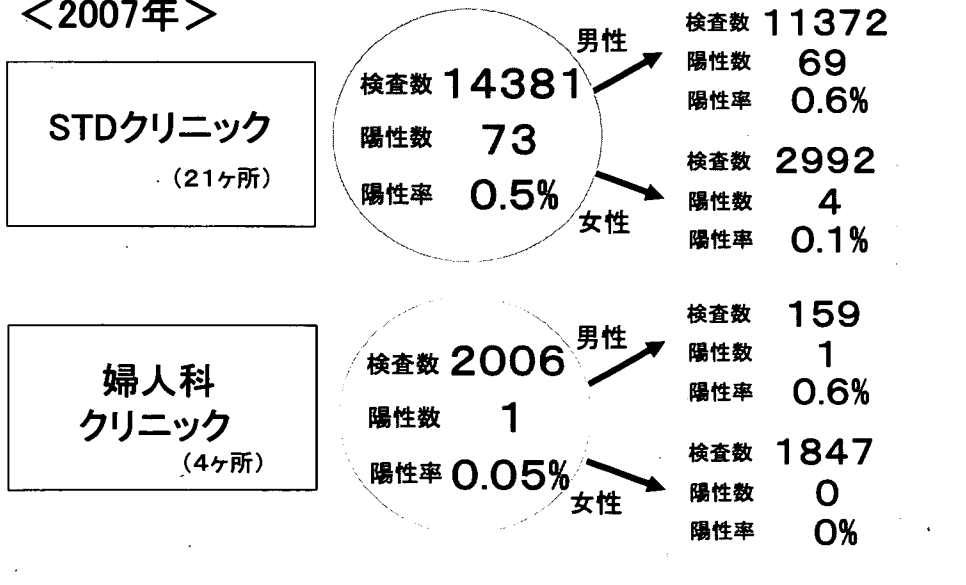


図21 栃木県県南健康福祉センターでのHIV検査実施件数の推移

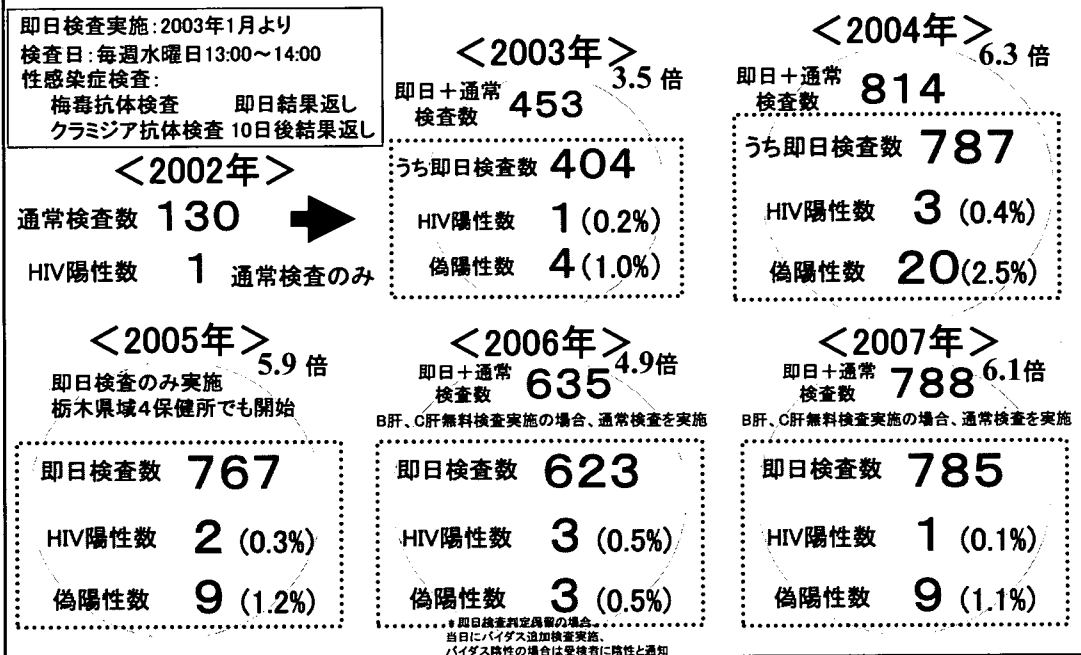


図22

江戸川保健所でのHIV検査実施件数の推移

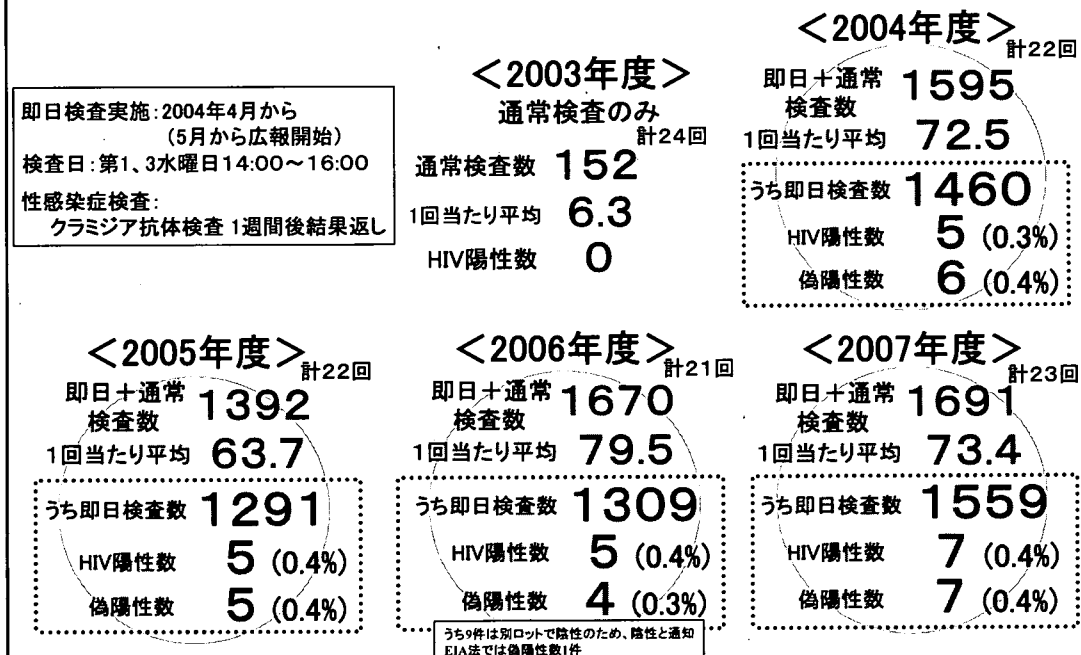


図23

保健所等無料HIV検査の検査数

(1997-2007年)

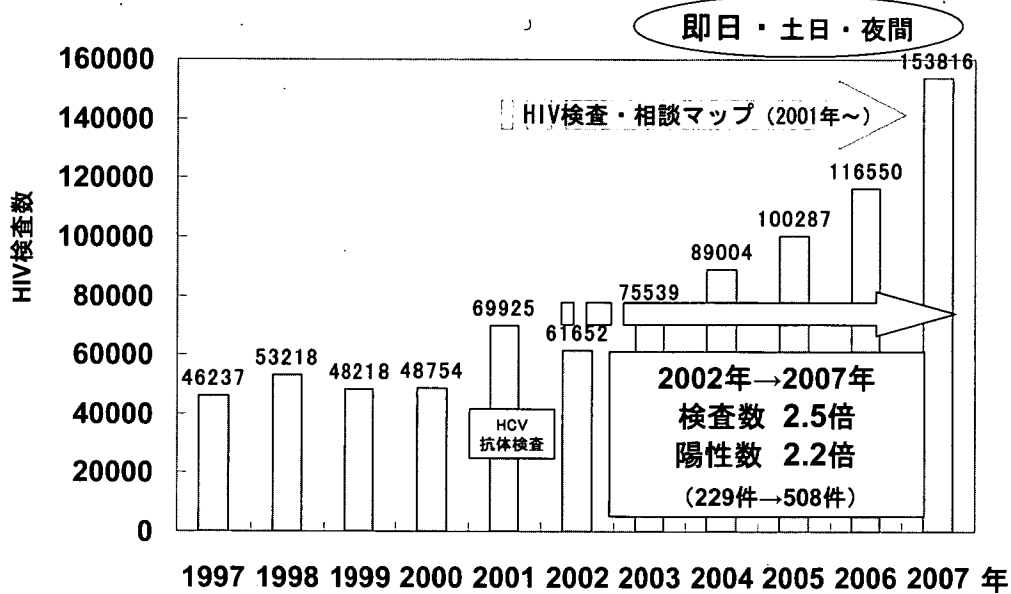


図24

HIV検査相談事業の役割

自発的に受検するすべての人に対して、

- 1) HIV感染のしくみ、検査を受けることや結果の意味などの情報提供を徹底し、感染リスク軽減のための行動変容を支援すること
- 2) 必要に応じて、地域の社会資源の情報を提供し、利用できるよう支援すること
- 3) HIV感染症やHIV陽性者に対する誤った情報やイメージを払拭する機会とすること

また、HIV陽性とわかった人に対して、

- 1) 医療者との信頼関係をつくり医療機関への受診を支援すること
- 2) HIV陽性であることが人生を否定するものではないことを伝えること
- 3) 性行動などについて話せる機会を提供すること
- 4) 陽性者グループ・陽性者支援グループを含む利用可能な相談窓口・社会資源の存在や利用方法を伝えること

図25

Opt-out(事前許可なし)のPITCの推奨

- 1) エイズ流行規模に関係なく、エイズの臨床症状を呈する人、
- 2) HIV流行が一般化して状況(妊産婦の有病率が1%以上)にある医療施設を利用する人、
- 3) 感染率が低いところや流行が限定されている状況ではより選択的に、実施する

図26

初回CD4数の分布

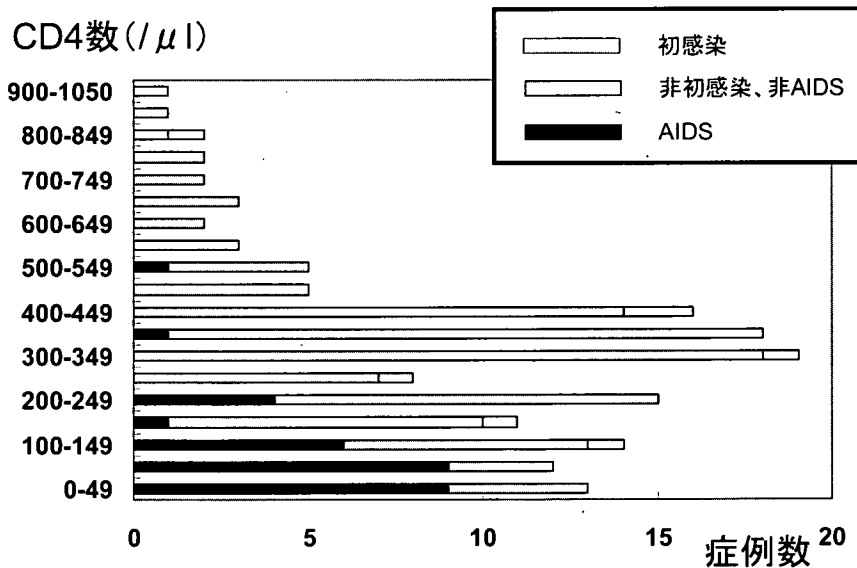


図27 経過観察中の無治療症例の累積率(非初感染非AIDSである113例)

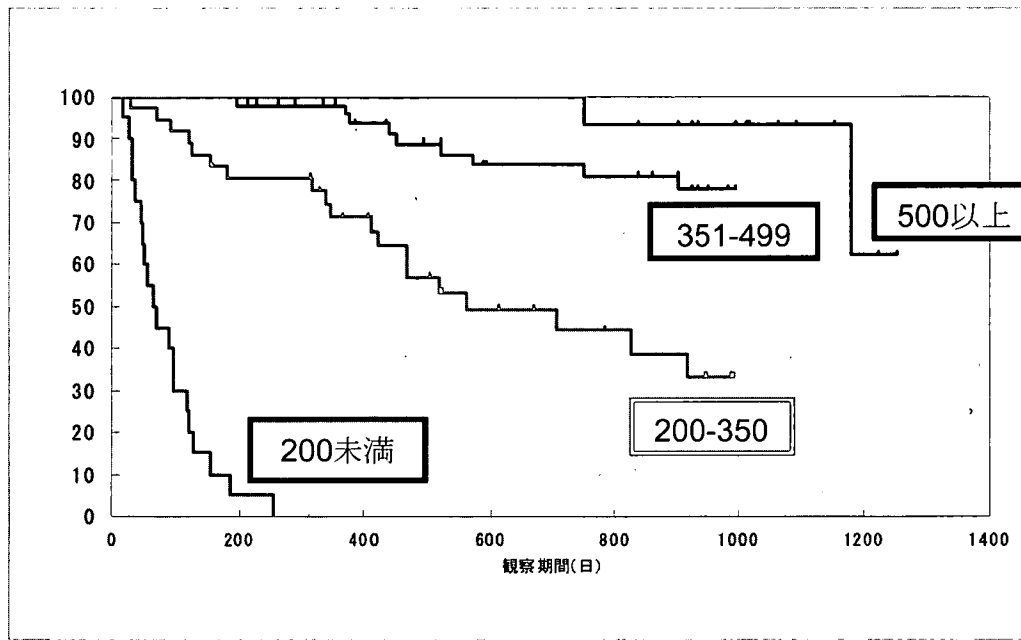


図28

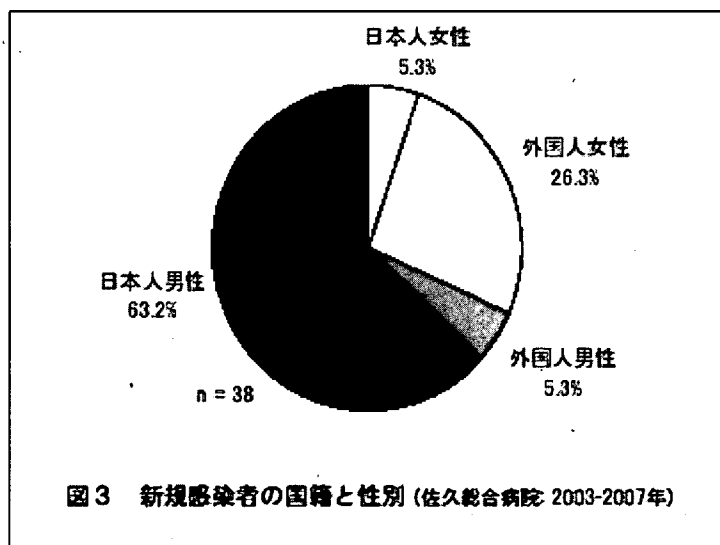


図3 新規感染者の国籍と性別(佐久総合病院 2003-2007年)

図29

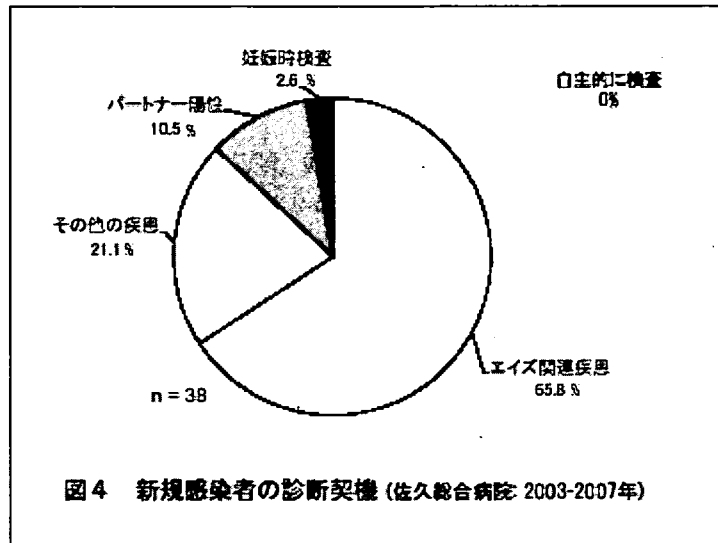


図30

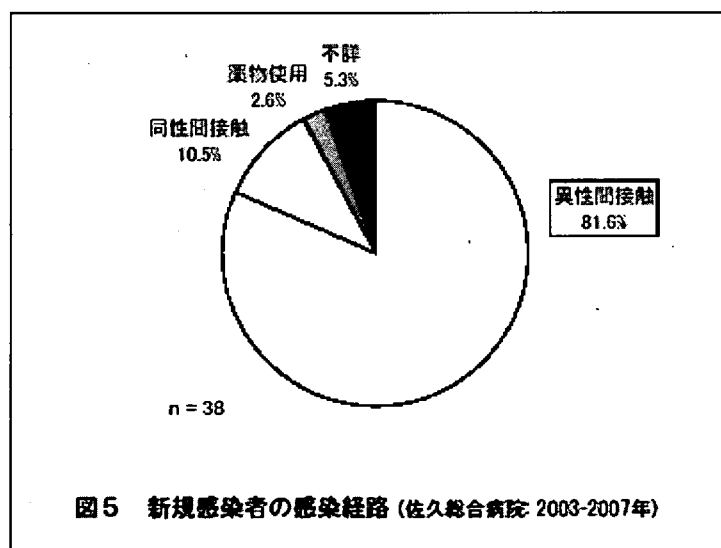
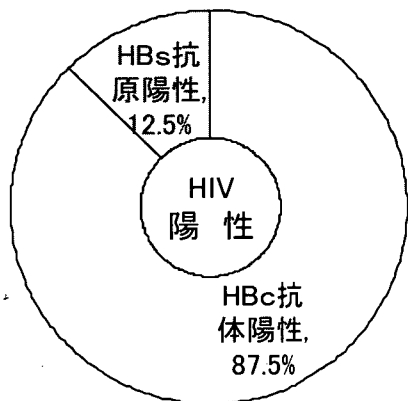


図31

南新宿HIV陽性8症例の
B型肝炎罹患率



南新宿HIV陽性男子25症例のST
D罹患率

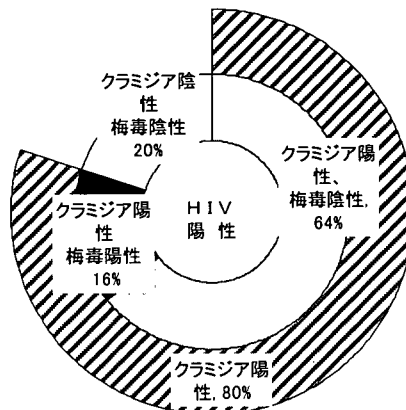


図32

H I V陽性率

(n=6483)
(陽性者63人)

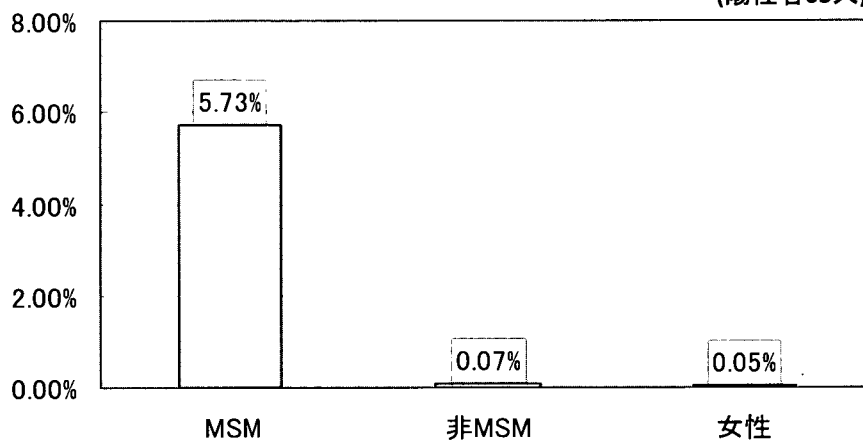


図33

STD陽性率(%)

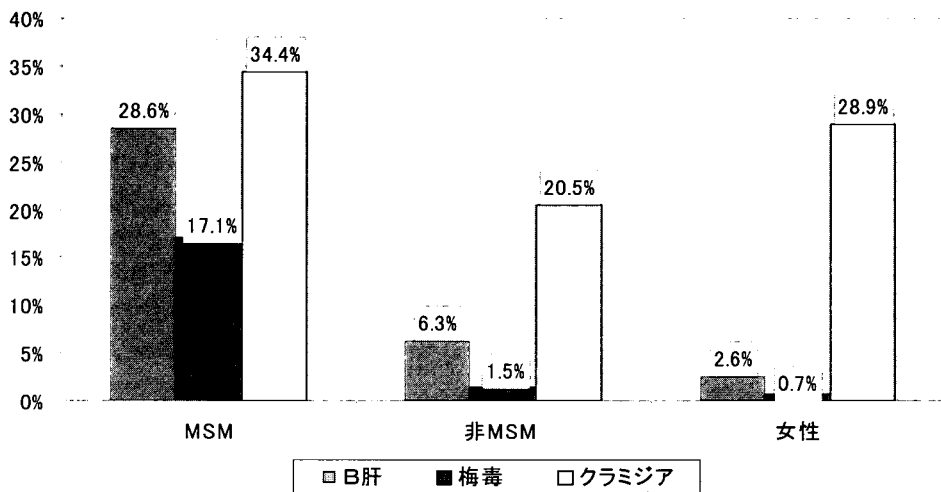


図34

B肝+梅毒

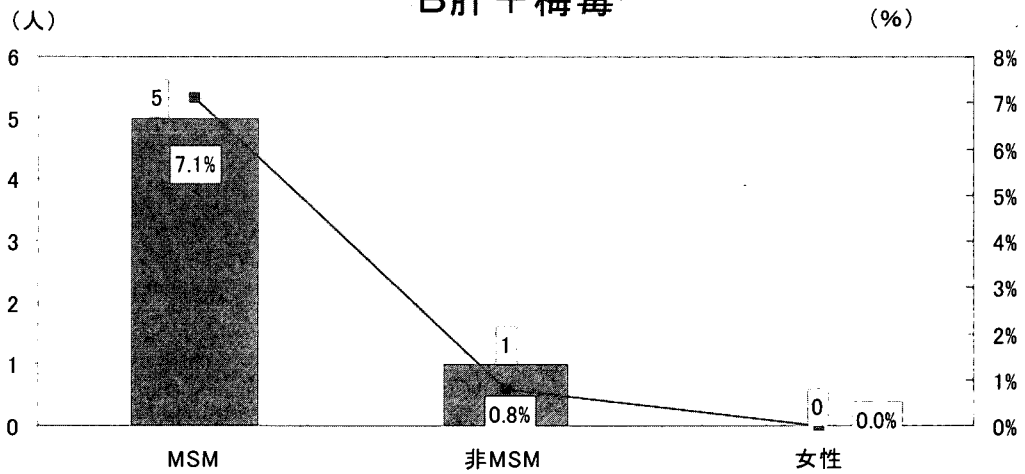


図35

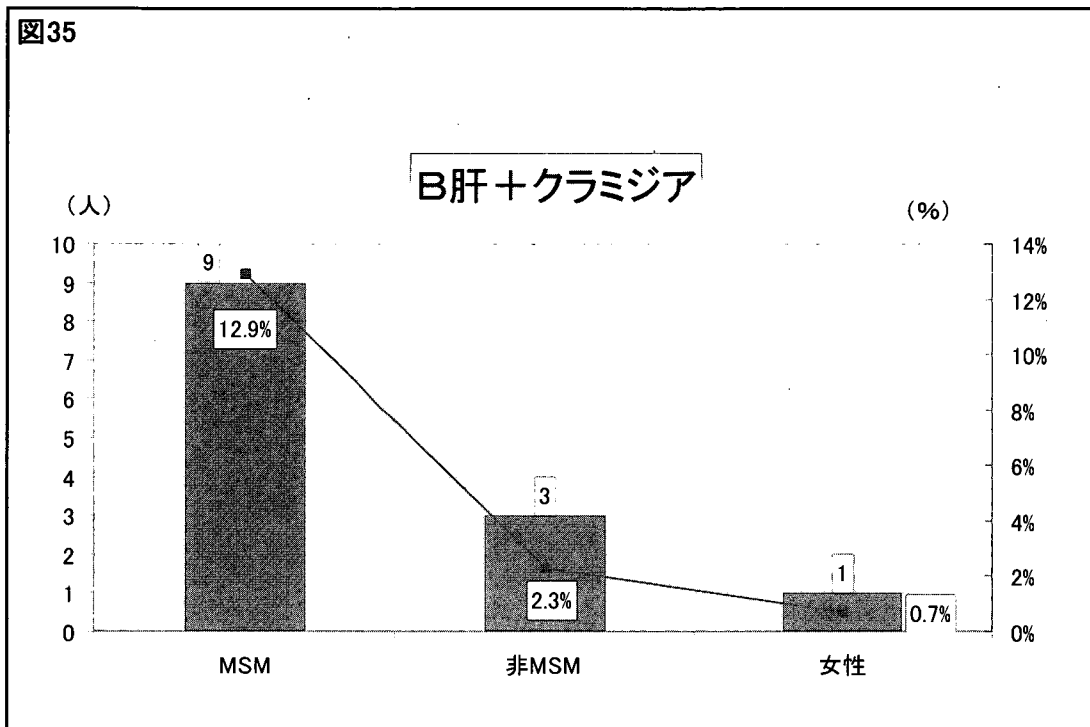


図36

クラミジア抗体検出による STD/HIVリスクの回避

- ◆ 既往を含むクラミジア抗体陽性は女性の約30%に達する。
- ◆ 自覚症状を欠くため感染者の大部分は感冒などの偶然の服薬で治癒している。
- ◆ 感染に気づきリスク行動を避けることで、HIVに至るSTDの感染のステップを登ることを避けられる。

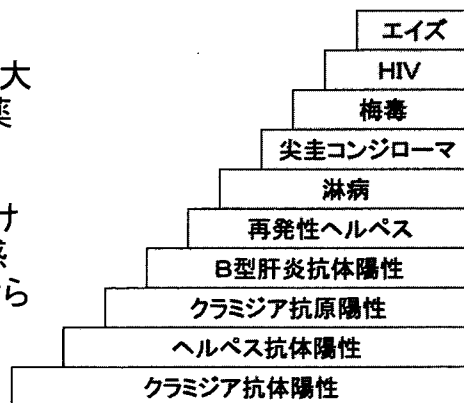


図37

STDの特徴

	初発症状	無症状感染	血清抗体 検出法	母子感染	続発症	米国年間 推定症例数
淋菌感染症	分泌物 排尿痛	咽頭、直腸 (頸管)	(-)	結膜炎	尿道狭窄 不妊症	80万
クラミジア	分泌物	結膜、男子 尿道以外	(+)	結膜炎、 肺炎	不妊症	400万
梅毒	硬結、潰瘍	多	(+)	死産、早産 先天梅毒	中枢神経梅毒 心血管梅毒	10万
ヘルペス	性器疱疹、 びらん	多	(+)	新生児 全身感染	反復性疱疹 キャリア	20~50万
尖圭コンジローマ (HPV)	性器疱疹、 疣贅	多	(-)	咽頭疣贅	子宮がん	50~100万
B型肝炎 (HBV)	肝炎黄疸	多	(+)	キャリア	肝がん	5万
HIV感染症 (エイズ)	感冒様症状	多	(+)	小児エイズ	カポジ肉腫 日和見感染	5万
伝染性単核症 EB	上気道炎 発熱	多	(+)	-	肝炎、パーキット リンパ腫	-

図38

HIV郵送検査の調査 —調査対象の選択—

「HIV検査」等のキーワードで
サイト検索
(2007.12.)

30サイト以上ある
HIV郵送検査を取り扱う
サイトを調査

HIV郵送検査を取り扱う
郵送検査会社9社に
アンケート調査を依頼

アンケートの
回答が得られた
郵送検査会社
8社

1社は回答なし

図39 郵送検査の流れ

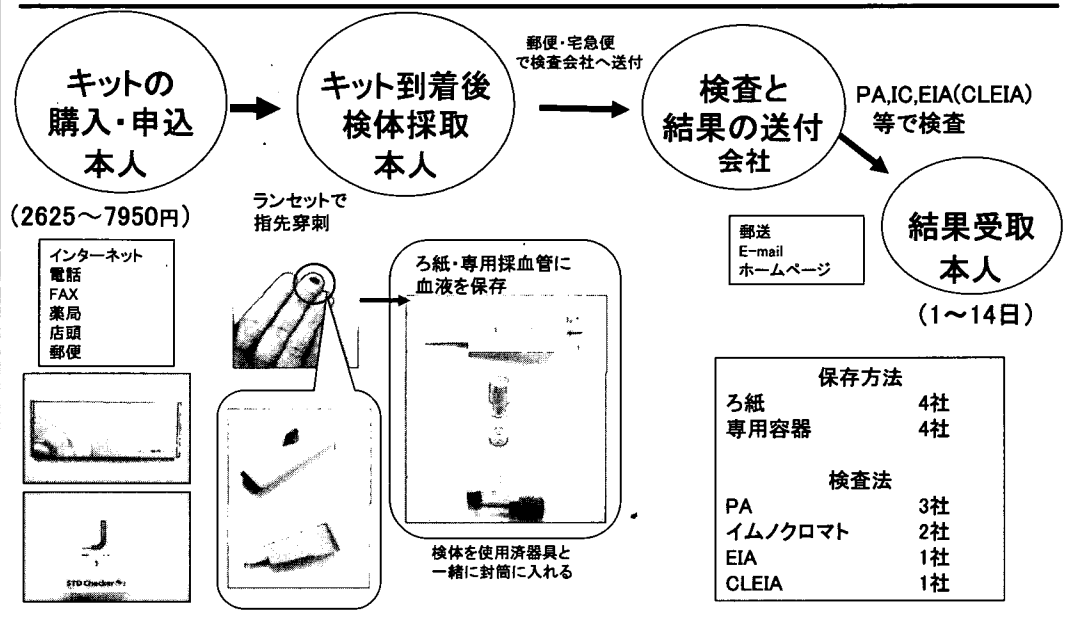
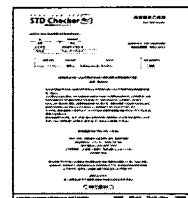


図40 検査結果の通知方法と陽性時の対応

通知方法

- ・ 郵送(希望者への通知を含む) 8社
- ・ 携帯・PCへのメール 4社
- ・ 専用サイト(ID、パスワード付) 3社

(複数回答)



陽性時の対応

- ・ 病院等の医療機関での確認検査を勧める 6社
 - 自社で設けた専用の相談連絡先を知らせる 2社
 - 提携している医療機関に行くように勧める 1社
 - 確認検査を実施している 1社
 - 電話にて中核病院で確認検査するよう指導する 1社
- ・ 確認検査の必要性を伝え、エイズ予防財団のカウンセリングを受けるよう勧める 1社
- ・ 検査結果のみ知らせ対応は個人の判断に任せる 1社

図41

HIV郵送検査の動向 検査数とスクリーニング検査陽性数の推移（2001-2007）

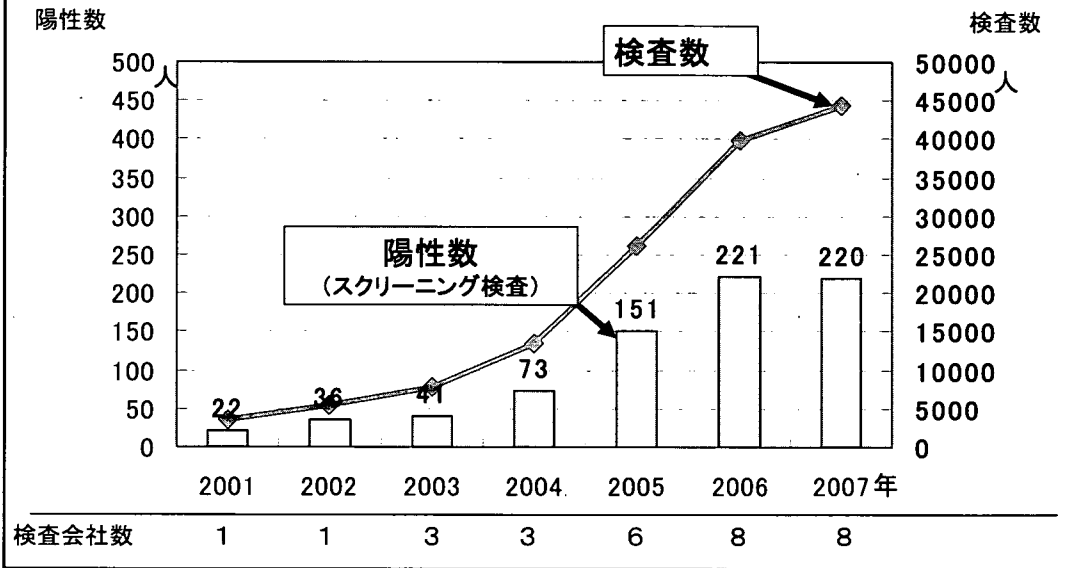


図42

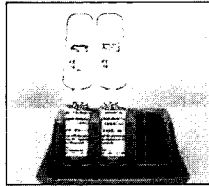
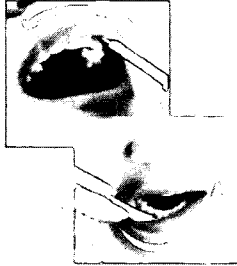
表1. HIV自己検査キットの購入サイトと製造販売

No.	注文サイト			製品名	製造販売業者 国	小包の発送元		税関申告内容
	輸入代行	価格 1個あたりの製品代+送料	サイトの言語			国名	発送業者	
1	○	7,950+700円	日本語	製品A	^a HUNGARY	日本 東京	p	記載なし
2	○	7,950+630円	日本語	製品A	^a HUNGARY	日本 福井	q	記載なし (取扱注意のシール)
3	○	4,800円	日本語	製品B	^b INDIA	中国 香港	r	SUPPLEMENT FOR PERSONAL USE ONLY
4	○	2,068円	日本語	製品B	^b INDIA	中国 香港	r	SUPPLEMENT FOR PERSONAL USE ONLY
5	○	6,900円	日本語	製品B	^b INDIA	中国 香港	r	SUPPLEMENT FOR PERSONAL USE ONLY
6	○	3,300円	日本語	製品C	^c THAILAND	タイ	s	記載なし
7	○	4,000円	日本語	製品C	^c THAILAND	タイ	t	記載なし
8	○	4,600円	日本語	製品D	^d U.S.A	米国	d	Test... (解読不能)

○: 輸入代行業者である

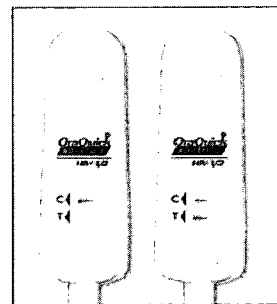
図43

Oral fluid rapid HIV testing



OraQuick ADVANCE
rapid HIV-1/2 antibody test

OraSure Technologies Inc.



1. Collect oral fluid specimens by swabbing gums with test device
2. Insert device; test develops in 20 minutes
3. Read results in 20 – 40 minutes

図44

結果 1

1. 特異性の検討 (HIV陰性検体200例)

	OraQuick	ダイナスクリーン		PA
	唾液	全血	血漿	血漿
陰性	199	200	200	199
陽性	1*	0	0	1*
特異性	99.5%	100%	100%	99.5%

* OraQuickとPAの陽性は別検体 陽性検体は追加検査で陰性を確認

OraQuick 唾液検査での特異性 99.5%

図45

結果 2

2. 感度の検討 (HIV陽性検体66例)

	OraQuick			ダイナスクリーン		PA
	唾液	全血	血漿	全血	血漿	血漿
陽性	62**	63	63	66	66	66
弱陽性	2	3	3	0	0	0
陰性	2*	0	0	0	0	0
感度	97.0%	100%	100%	100%	100%	100%

* OraQuick陰性3例: ① HIV-1 1024倍、HIV-1/2 1024倍 (抗HIV治療中) ② HIV-1 2560倍、HIV-1/2 2560倍

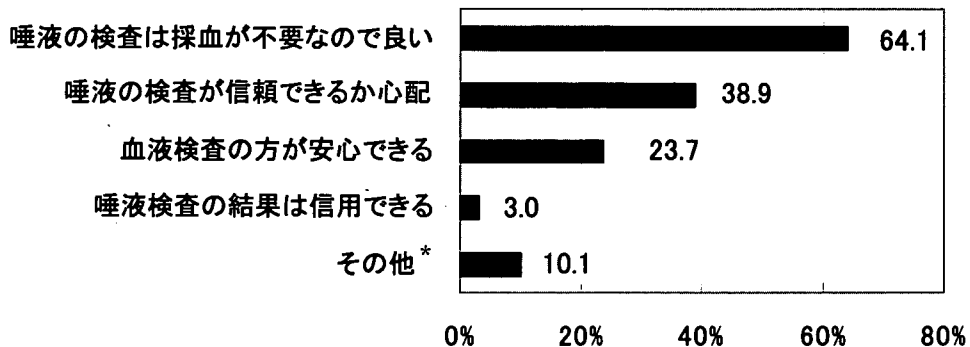
** うち感染初期例2検体: ① HIV-1 256倍、HIV-1/2 512倍 OraQuick陽性 ② HIV-1 256倍、HIV-1/2 4096倍 OraQuick陽性

OraQuick 唾液検査での感度 96.9%

図46

アンケート調査結果 2

Q. 唾液検査を受検した感想 (複数回答可)



* その他意見: ・検査方法が簡単でよい ・信頼性が高ければ広まってほしい
 ・十分唾液を付けられなかった気がした
 ・手軽に検査できるので、多少の信憑性が欠けていてもよい

図47

アンケート調査結果 3

Q. 唾液検査と血液検査のどちらの検査を希望しますか？

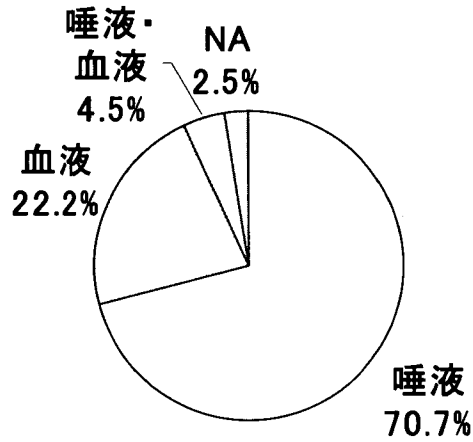


図48

HIV陽性献血者数の推移

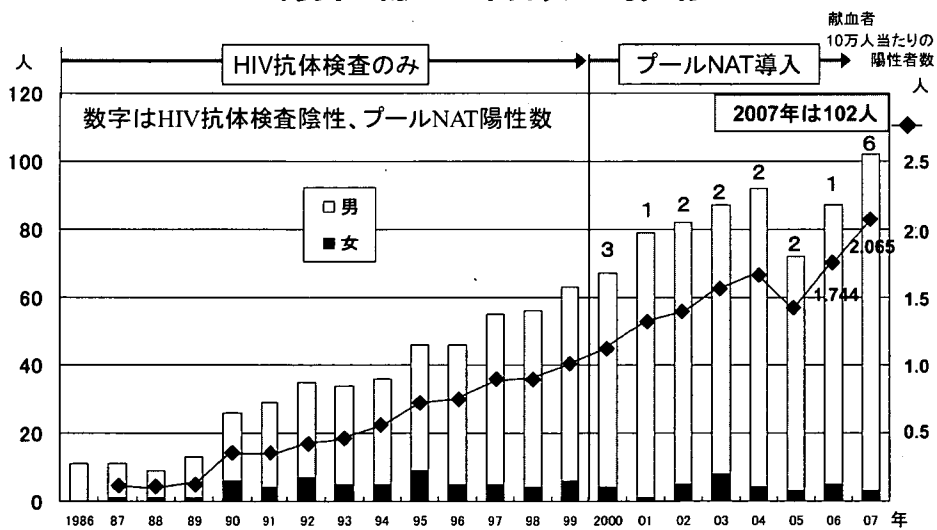


図49

HIV陽性献血者数の年次推移

(東京 vs 大阪)

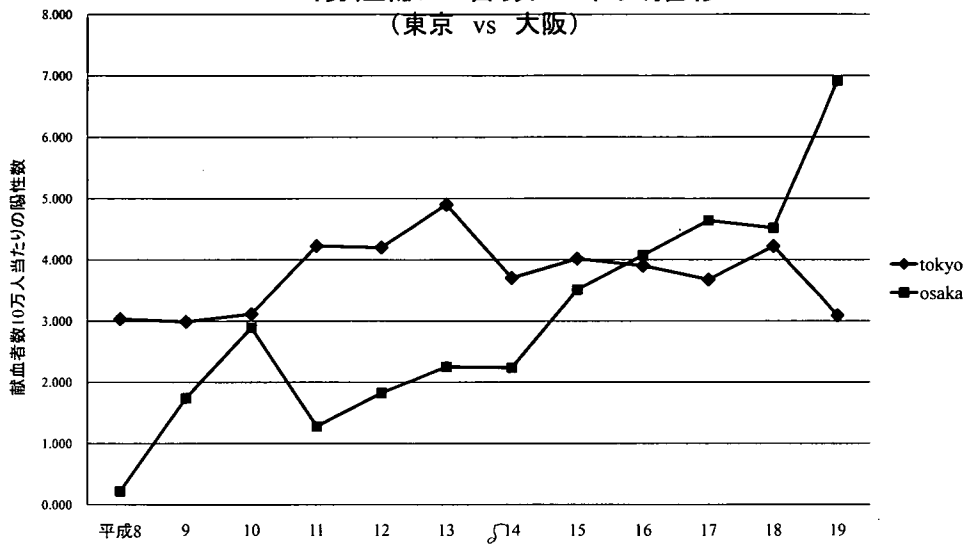


図50

献血者におけるHIV感染者の動向

	2004年	2005年	2006年	2007年
10歳代	0	2	2(1)	5
20歳代	37(3)	25	29(2)	38(2)
30歳代	28(1)	32(3)	43(2)	35(1)
40歳代	19	10	9	17
50歳代	7	8	3	5
60歳代	1	1	1	2
合計	92(4)	78(3)	87(5)	102(3)
初回者数	26 28.2%	28 35.9%	32 36.8%	30 29.4%

()内は女性の内訳、初回者数も内訳